

DESIGN

Graduation Study & Exhibition

2 0 0 7



卒業作品集

会津大学短期大学部 産業情報学科 デザイン情報コース

産業情報学科における「卒業研究ゼミ」は、現実社会の諸課題の発見から解決に向けた創造的展開能力と最終提案に対する創造性を研鑽するものとして重要な位置づけで実施してきました。1年次の後期からプレゼミとして、問題の所在、関連する資料の収集法、様々な技術・技法、創造法、問題解決法などのトレーニングを実施し、2年次からの具体的なテーマ設定から最終提案まで1年間かけて情熱的に取り組んできました。その成果は、「卒業研究ゼミ発表会」、「卒業研究ゼミ要旨集」、「卒業展」、「作品集」などに示されている通りです。

そういう意味では、この「作品集」は学生諸君の日頃の成果を端的に示しているもので、その足跡の結実であるといえます。個性的で豊かな創造の芽生えを感じさせる作品、現実的地域課題に具体的に応えようとする力作、提案した内容をそのまま実現させたいと思わせる研究など、意義深い作品が多々見られます。そこには、卒業を控える学生諸君の輝かしい将来を示すものとして、希望を与えてくれたものといえます。同時に、「作品集」を発行することは、人生のひとつの区切りとして、誠に意義深く、長く記憶されるべきものであると思います。「卒業研究ゼミ」で経験したプロセスや反省を通じて、更なる飛躍を期待しています。

最後に、卒業研究および卒業制作にご支援・ご協力いただいた学内外の関係者の方々に深く感謝するとともに厚く御礼を申し上げます。また、この「作品集」は広く学外にも配布して、諸賢の御高覧に供しています。皆様の忌憚のないご意見、ご批判を賜れば幸いに存じます。

平成19年3月
会津大学短期大学部 産業情報学科
学科長 牧田 和久

目次

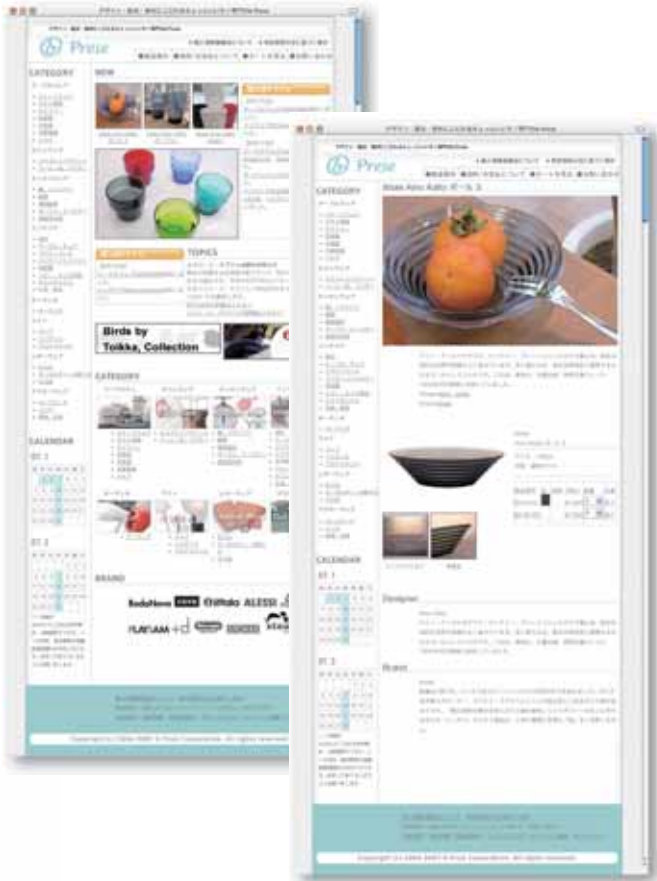
ゼミ名	制作者	タイトル	ページ
インターフェイス	五十嵐瞳	CMSを利用した野良猫MAP	3
	泉綾乃	小規模店舗を対象とした商業用ウェブサイト	4
	栗城崇匡・宗田亜友美・田中優紀	東山温泉街活性化推進計画に基づく東山温泉観光協会HPリニューアル	5
	森郁恵	草むらの世界	6
インテリア	荒川景子	まちの調律-会津におけるサウンドスケープ調査研究とデザイン-	7
	伊東静香	子どものためのアクティビティスペース・デザイン	8
	金原真奈美	ユニバーサルデザインを利用した快適な養護学校の提案	9
	西田朋未	会津若松市における生涯学習施設	10
	押部有姫	東山温泉街賑わい計画	11
	里井裕子	向こう三軒両隣 ～世代間交流促進計画～	12
	芳賀麻梨絵	会津地域における住民主体の廃校校舎有効活用計画	13
	吉田千帆	中山間地域における空き家利活用	13
グラフィック	石井馨	エイズ孤児の支援を訴えるための広告活動	15
	宇内優子	昭和の思い出	16
	遠藤里美	THE REAL FUKUSHIMA ～POP-UP60～	17
	小林有希	チャップリンのメッセージ	18
	橋本奈々	「環境をテーマとした飲料ブランドのデザイン」	19
	渡部真希	会津における若者向けショップのグラフィックツールデザイン	19
クラフト	飯塚涼子	自然の営み	21
	甲斐未敬	変化と成長	22
	小池悠太	漆と銀の装身具 ～古くて新しい日本の美～	23
	小室千恵美	今を生きる一瞬	24
	齋藤麻理子	植物のエネルギー	25
	柳田英里	扇	26
	山中早苗	享受	27
プロダクト	大竹裕美・亀田由季子・小松美菜子・佐藤麻衣・高橋幸子	元気なまちへの第一歩～住民と築き上げる実践型まちづくり～	28



制作意図

年々、野良猫に関する問題は深刻化しています。その野良猫問題の対策の一つとして「地域猫活動」の例がありますが、「地域猫活動」を行っている人と「地域猫活動」を受け入れない猫嫌いの人との間で、トラブルが発生する事もあります。

そこで、猫に関する情報を知ってもらう事で猫が嫌いな人の嫌悪感を少しでも緩和したり、生息状況を地域の中で共有したりすることによって、野良猫問題解決の第一歩を踏み出したいと思い、野良猫 MAP を制作しました。



■事例 1: bPrese (オンラインショップ)



■事例 2: モンタン (パスタ専門店)

制作意図

現在インターネットが普及し、近年は企業のみならず小規模店舗が自店の web サイトを持つようになりましたが、企業側・店側が書きたいことを並べただけのユーザーを考えていないかのような造りだったり、使い勝手の悪いものが存在します。そこで検索エンジンによる自サイトの発見から購入・来店までの流れを意識し、デザインやユーザビリティの良い web サイトとはどのような点に注意して制作すれば良いか考え、マニュアル化しました。今回は事例を 2 つ上げ、それぞれのパターンに合わせて制作しました。



■トップページ



■からり妓さん奮闘記



■松平御廟紹介

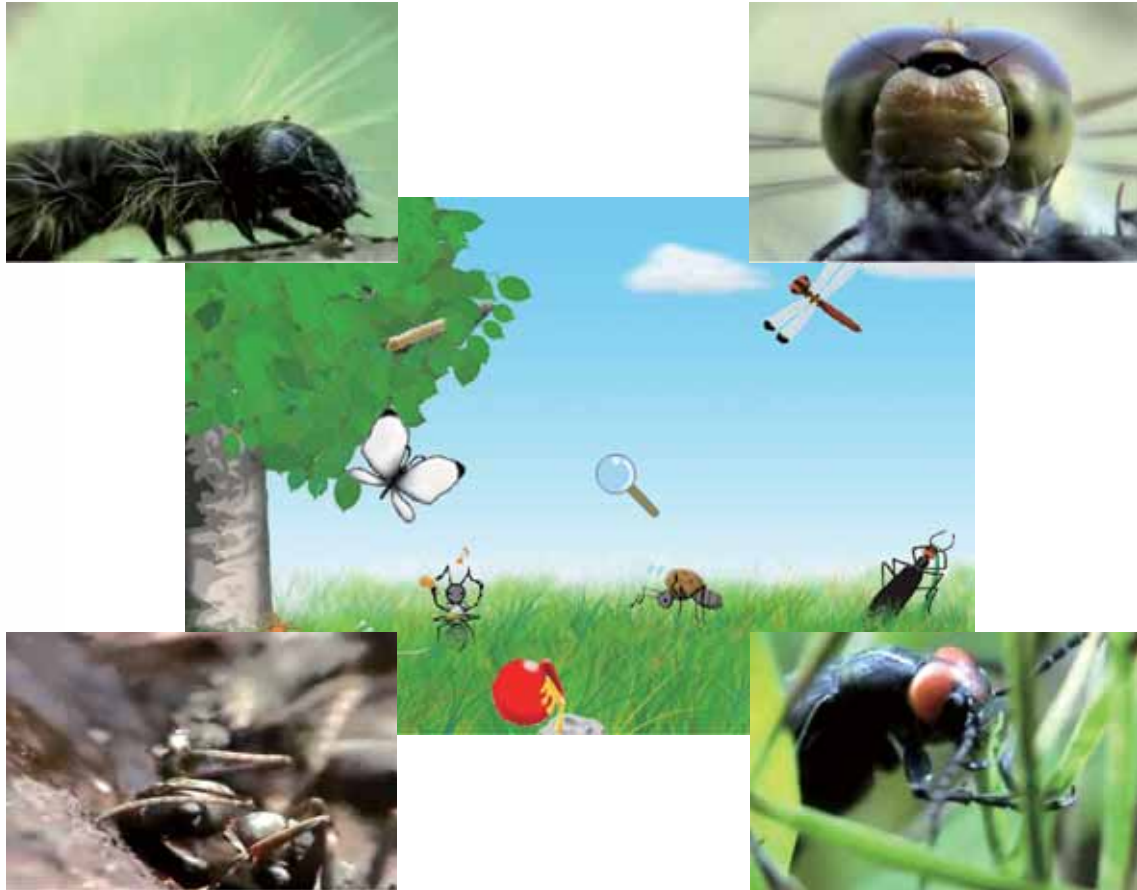


■四つの小径紹介



制作意図

東山温泉街活性化推進計画にもとづいて東山温泉観光協会と共に、東山の伝統文化を多くのユーザーに分かりやすく知って貰うためウェブサイトのリニューアルを考えました。東山温泉の魅力につながる芸妓文化や周辺マップなどを全国に情報を発信し伝えることができるウェブサイトの制作を目指し、東山温泉らしさがウェブサイトからユーザーに伝わるように制作しました。



制作意図

私たちの世界には人間だけでなく様々な生き物が生きているが、普段、私たちの視点で生活しているので、すぐ近くにいる昆虫の存在を忘れてしまいがちだ。視点を低くして周りを見渡すと、私たちが生活する世界とは違う世界が見えてくる。

現実の世界なのに普段目にするものがない世界を表現しようと思い、草むらの世界を撮影することにした。また、昆虫の棲む草むらの世界で起きている生きるための命のやりとりなど様々な出来事を撮影し映像化することで本物の命を感じてもらえるようなコンテンツを制作した。



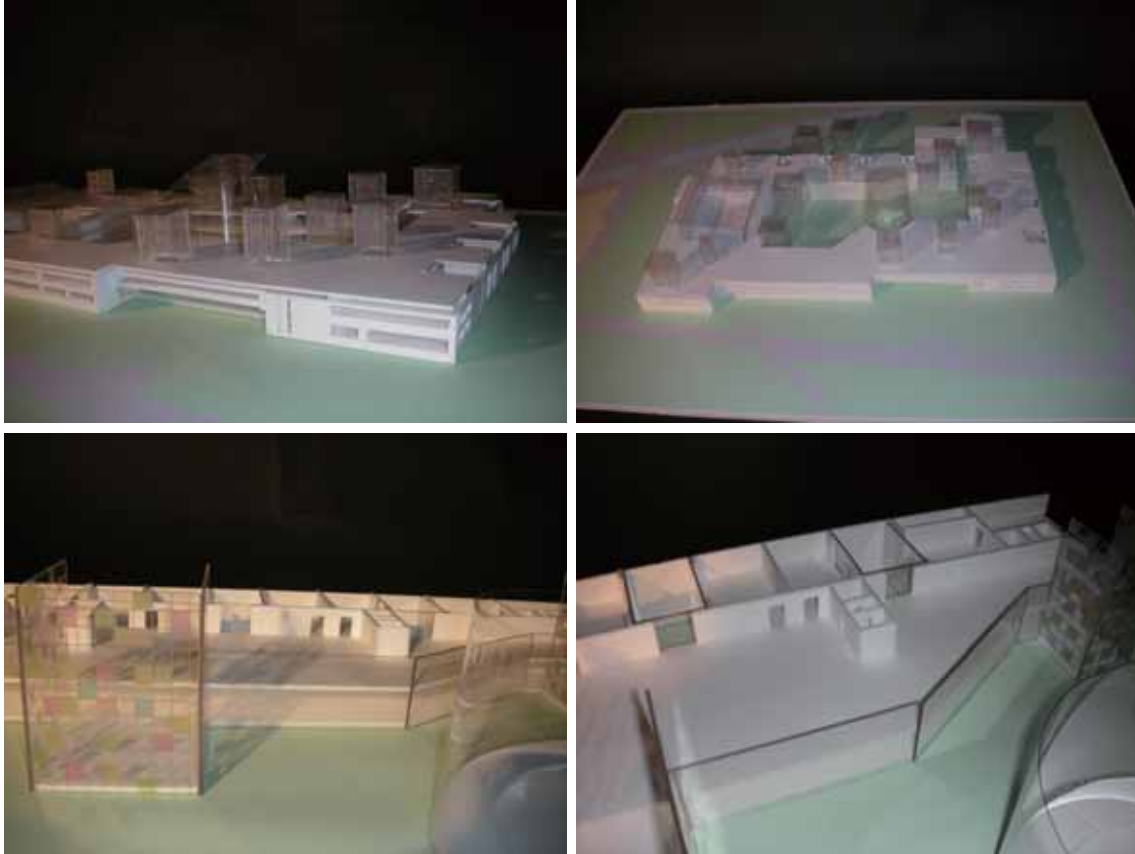
制作意図

「サウンドスケープ」とは、「我々の身の回りの音を身近に、意識的に捉えてみよう」という考え方です。研究を進めて、会津には自然の音、独特なお祭りの音など、都市では少なくなってしまった音が多く残っていることが分かりました。しかしそれらの地域に根付いた音が無くなりつつあることも、今の会津地域の現状です。今回、音を通して会津の魅力を再認識して欲しいと思い、会津若松市大町通りの音環境整備を提案しました。



制作意図

子どもたちの自発的行動を促すスペース提案という構想に対して、子どもクラブ調査で見られた、箱形で即席的な建物のイメージを一新し、新しい空間によって正面から応答することを意図した。ここに提案するのは、敷地全体にアクティビティスペースとしての要素をちりばめ、一体感を持ちながら子どもたちが活動できる多様な場所である。たくさんの要素をたった1本の線で繋いでいくという、シンプルなプランが創り出す空間の多様さと新しさを意図した。



制作意図

養護学校は様々な障がいを持つ子供たちが1日の大半を過ごす場所である。障がいをハンディキャップと考えるのではなく一つの個性として前向きに考えることができるような学校の形を提案したい。この考えがきっかけとなり養護学校をテーマに選んだ。

障がいが年々重度化・複雑化しているという養護学校の現状を知る中で、障がいを選ばず誰もが快適に利用可能なデザインが求められていると感じ、ユニバーサルデザインという観点から設計を行った。

調査結果・考察

私は、平成22年度オープンをめざした生涯学習施設が会津若松市に建つことを知り、生涯学習をどのように捉えて、どのような生涯学習を会津若松市において展開していくべきなのか興味を覚え、これを研究の目的としました。

研究の結果、以下ことがわかりました。

第一に、「生涯学習」という言葉は学習の推進として生まれた言葉というより、学習を囲い込もうとして生まれた言葉だということです。定義がなく、しかし、様々な学習をその一部としてとらえようとする言葉です。ですから、一口に生涯学習といっても生涯各期、学習方法、学習内容、学習の場などと問題は多岐にわたっています。

第二に、会津若松市の生涯学習活動と事例を比較した結果、会津若松市において次のような改善・導入の必要性があることがわかりました。一つに、数多くある団体に対してどのように貸し出しをおこなっていくのかということです。市内では数多くの団体が活動しており、現在、公民館の使用が大変混雑しています。事例には、ワークショップをおこなってもらえるかどうか、または活動内容によって貸し出しを優先させたり、利用時間の設定を工夫してるところがありました。二つ目に、積みあがったノウハウをどのように利用したり、保管したりするのかということです。市では生涯学習ボランティアを募集するなどおこなっています。ボランティアを含めノウハウをもった者が講座を開くだけに終わらず、学習の活動の輪のなかに関わって持っている技術や知識を提供したり、おこなわれた活動を記録して次におこなわれる活動の参考として保存したり、学習をおこなう者への学習相談をおこなうなどといったことが望まれます。三つ目に、運営等への住民の参加です。事例には、住民が管理するもの、事業を提案するものがあり、住民が参加することによって住民が施設を自分たちのものとして意識したり、よい人材の利活用となったり、事業に住民のニーズを取り入れやすくなったりというメリットがあげられます。市ではこれまで住民の参加はありませんが、これから施設建設とともに住民参加を積極的におこない、完成後も続いていくような住民の意識づくり、組織づくりをおこなって欲しいと思います。

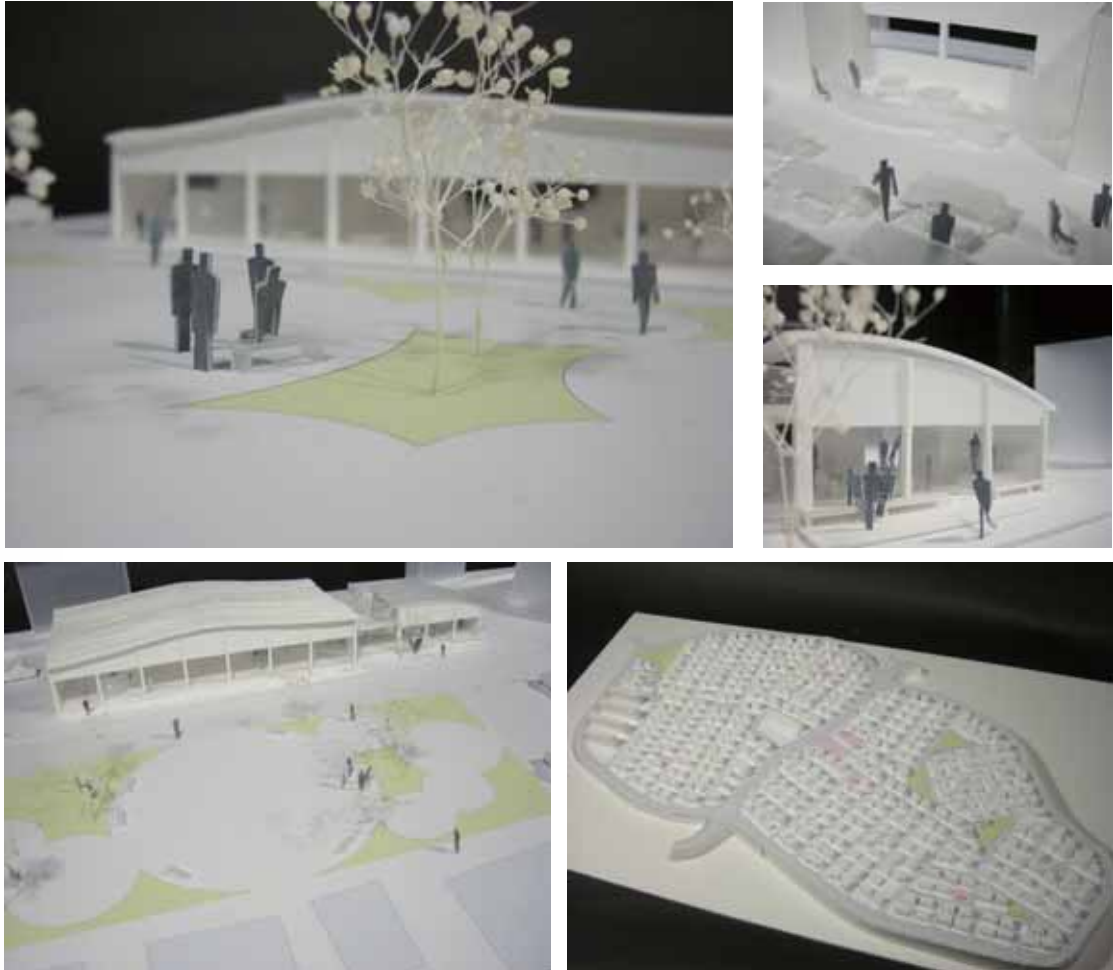
学校教育からはなれた学習はこれからますます必要とされます。それは、高齢化や団塊の世代の退職によって時間をもった者が増えることや、情報・技術の高度化、移り変わりの速さが予想されるからです。会津若松市に建つ「(仮称) 会津若松市生涯学習総合センター」が住民の生活を支える施設となることを願いたいと思います。



制作意図

私は東山温泉街の4つの小径について調査しました。景観整備の充実だけでなく、誰もが楽しめるような小径づくりとして「瓦灯」を使ったおもてなしの提案をしました。

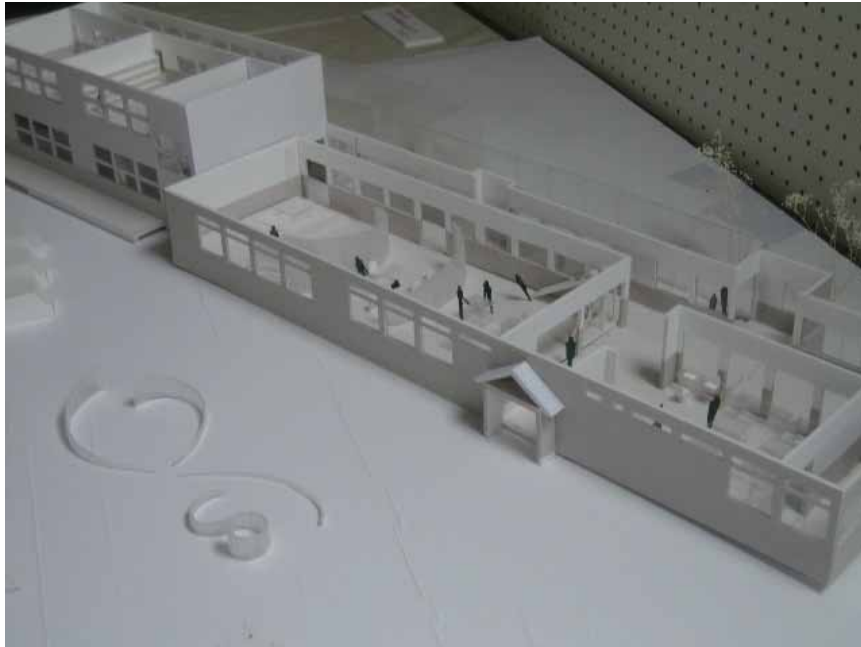
瓦灯を配置することにより、外への誘客を増やすと共に温泉街の情緒も醸し出すという雰囲気づくりにもなっています。また、東山温泉街は細く急な道が多いので道案内としても瓦灯が使えると考えました。



制作意図

少子高齢化や核家族化・高齢者世帯の増加などの家族構成の変化、女性の社会進出などにより子どもと大人が接する機会が減少している。そのため日常生活の中で伝承されてきた礼儀作法や生活の知恵、雑学、伝統などを家庭のなかで知る機会が少なくなっている。

そこで地域コミュニケーションの中でもう一度世代間交流を定着させ、それらのものが伝承されていくように、地域特性を考慮した上で地域ごとに世代間交流促進のための空間やプログラムを提案した。



制作意図

学校はその地域の核であり、「宝」である。しかし過疎化や高齢化が進み、学校は廃校とならざるを得なくなる。またそれらは増加傾向にある。廃校校舎を有効に活用することは地域の核を再び蘇らせることであり、地域の衰退を防ぐことにも繋がると考える。

そこで会津地域に焦点を当て、調査研究を行い提案を行った。活用にあたっては地域住民と何らかの関わりを持つかが重要であると考え、「住民主体」を念頭に置き活用アイデアと空間利用を提案した。



制作意図

少子・高齢・過疎化の影響から、空き家を目にすることが多くなりました。しかし、空き家を活用するには様々な問題が伴います。研究では、提案よりも調査がメインでしたが、空き家の活用をする前段階である問題点の解決策に繋がるシステムのデザインをすることができたと思います。会津の中山間地域を中心に、空き家の実態や過去の調査状況、各自治体の取り組み状況や意向、移住者へのヒアリングを通して、調査結果をまとめ、問題点の解決策を考えました。



制作意図

HIV/AIDS は、この 10 年間で子ども達を脅かす最大の問題のひとつとなった。推計では、親を発症により亡くし自らも感染した孤児が 2010 年に 5,000 万人に達するとされている。まだまだ HIV/AIDS に偏見や誤った知識を持つ人が多い中、孤独と病気、偏見からの差別に苦しむ子ども達のためにできることはないかと考え制作に至った。身近な場所で問題に触れ、受け手が支援に参加する動機付けとなるような広告を目指した。



制作意図

欲しい物も満足に手に入らない、テーマパークや携帯電話も無い昭和の時代…沢山の人の繋がりがあったように思います。私はそんな人との繋がりが、現代にこそ必要だと思い、当時の生活習慣や遊びを通じてコミュニケーションの場となる作品を作りたいと考えました。そのコミュニケーションの場として、実際に昭和30年代に使っていたタンスを利用して当時の雰囲気再現し、性別や年齢に関係なく楽しんでもらえる作品を目指して制作しました。



制作意図

私が20年間住んできた「福島県」。しかし、私が自分の住んでいるごくわずかな地域しか知らないということに気づきました。自分の生まれ育った県のことを知らないという事はとても恥ずかしく、また、福島県をもっと知りたと思いました。私が「知ってほしい」と思う情報などを載せ、興味を持って見る事が出来るような仕掛けのあるカード (POP-UP) を作りました。

私の POP-UP をきっかけとして、どこかの市町村に興味を持っていただけたら幸いです。



制作意図

「喜劇王」としてその名を知られるチャップリンの作品には、笑いだけではなく、たくさんの社会的・人間的なメッセージがこめられています。

そんなチャップリンの作り出す笑いやメッセージは、現代においても全く色あせることなく私たちの心に届くものばかりです。

今回は、サイレント映画の喜劇王として視覚情報で表現するチャップリンのメッセージを、私なりに再び視覚情報として表現することに試みました。



制作意図

今、世界では地球温暖化という大きな環境問題をかかえている。その環境問題について、身近なグラフィックツールを利用して何か出来ないかと考えた。

そこで「環境」というテーマを掲げた飲料ブランドをつくることにした。そのブランドのメッセージをコンセプトにパッケージや広告をデザインし、環境を考えるメッセージをブランドを通して消費者に伝えようと思った。



制作意図

今まで会津に暮らしてきて、洋服やアクセサリなどを会津で買う事はあまりなく、不便だと感じていました。そこで以前からショップバックやパッケージに興味を持っていたので、「会津における若者向けショップグラフィックツールデザイン」ということで、ショップバックやパッケージ、DMなどのそのお店のグラフィックツールをトータルコーディネートしようと考えました。感情をテーマとし、若さ・女の子らしさを表現しています。



制作意図

皆さんは自然の中で遊んだという経験、思い出がありますか？最近では大人も子供も自然に触れる機会が少なくなったように感じます。

自然には楽しさや驚き、感動など、人を引きつける魅力が隠されています。あまり遊んだことがない、子供の頃は遊んだけど今はという人にもう一度自然について考え、目を向けて欲しいと思い、モンシロチョウの成長していく過程が感じられる作品を制作しようと思いました。



制作意図

日本には長い歴史の中で培われてきた日本独特の美の感覚がある。しかし、その美の感覚は現代の日本では忘れ去られつつある。日本人はもっと日本人らしくも自分達の文化を見直してほしい。そんな思いで、「古くて新しい日本の美」を形にしたいと考えた。

日本文化の中で受け継がれ洗練されてきた日本のデザインである「紋章」を主なモチーフとし、日本の伝統を感じさせる漆をアクセントに使い現代の生活に自然に取り入れられる装飾品に仕上げた。



制作意図

漆はありのままの自分を映してくれます。いい加減な気持ちで制作すればいい加減な作品に、心を込めれば下手でも素敵な作品になります。この作品の始まりは、蒔絵を施した鏡面に映る自分でした。初めての作品が完成して喜んでいる顔。その瞬間が忘れられません。

人の時間は限られたもの。限りある「今」の美しさを見つめて欲しい。このことから、「今」を生きる一瞬の大切さを表現する造形作品を制作しました。



制作意図

私は漆の木の植栽に行っていました。その約2ヶ月後、今度は下草刈りのため同じ場所に行きました。そこには、2ヶ月前と同じ場所とは思えない光景が広がっていました。2ヶ月前、土の色が見えていたその場所は、一面緑色になっていました。そのとき私は、植物のエネルギーはすごいと思い、この作品を制作しました。

植物は光合成をして成長するため、光への執着を表現し、植物のエネルギーとしました。さらに、素材はすべて植物です。素材は藁と麻ひもです。植物で制作することにより、植物らしさを出すことができましたと思います。



制作意図

小さいときから歴史が好きで、日本独特の文化に興味を持っていました。その中でも一番興味を惹かれたのが扇でした。扇のほとんどのものは木と紙で作られており、扇面に漆を塗った扇を見たことがありませんでした。そこで、自分で漆を塗った扇を作ってみたいと考えたことがこの作品を制作するきっかけでした。

平安時代初期に筆記用紙の代わりに使用されていた木簡を扇の形にしたもので、乾漆の板と檜の板で制作。乾漆の板を作る事は初めての経験で、いろいろ失敗などもしましたが、最終的にこうして形にすることができてよかったです。



制作意図

パラグライダーの大会で飛行中に木に引っかかった。そのときは恐怖感でいっぱいだったが、日が経つにつれて落ちて着いて振り返ってみると、ボロボロで大空を飛べなくなってしまっても、地に足をつけて、風を感じ、太陽を夕日になるまで眺めながら、生きているんだと実感する自分がいた。それを象徴するような羽をオブジェで作りたと思った。羽の表面には夕日の色を乾漆粉で表現した。羽の形は自分の中にあるイメージをスタイロフォームと木で造形した。

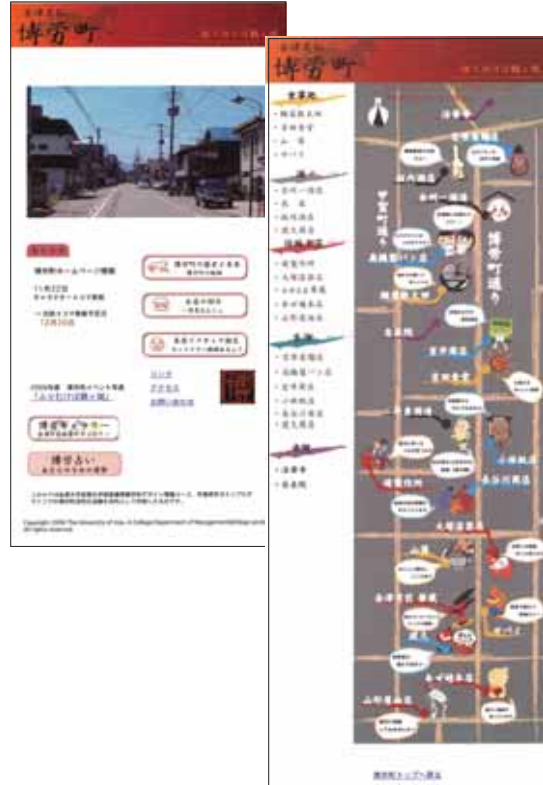
元気なまちへの第一歩 ～住民と築きあげる実践型まちづくり～

大竹 裕美・亀田 由季子・小松 美菜子・佐藤 麻衣・高橋 幸子

●商店統一看板制作



●ホームページ制作



●キャラクター制作



●博労町イベント出展



18店舗のキャラクターを見やすく一同に配置し、キャラクターをクリックするとキャラクターを使った四コマ漫画が読めるようになっています。

制作意図

一早く協定締結や町並み会などの取り組みを始めたものの、魅力がうまく表現できていないと感じた博労町の手助けする事を目的とし、活性化に繋がる第一歩になって欲しいと思い、博労町まちづくりに協力することにしました。

コンセプトに<①他の町とは違ったオリジナルなまち②住民とお店の人たちが協力し合うまち、また両者が住みやすいまち③緑のあるまち④歴史を感じさせるまち>の4つを元に様々な提案をしていきました。

会津大学短期大学部 産業情報学科 デザイン情報コース

卒業作品集 2007年版

発行:会津大学短期大学部 2007年3月

〒965-8570

会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1

phone 0242-37-2300(代表)

<http://www.jc.u-aizu.ac.jp>

INTERFACE

INTERIOR

GRAPHIC

CRAFT

PRODUCT